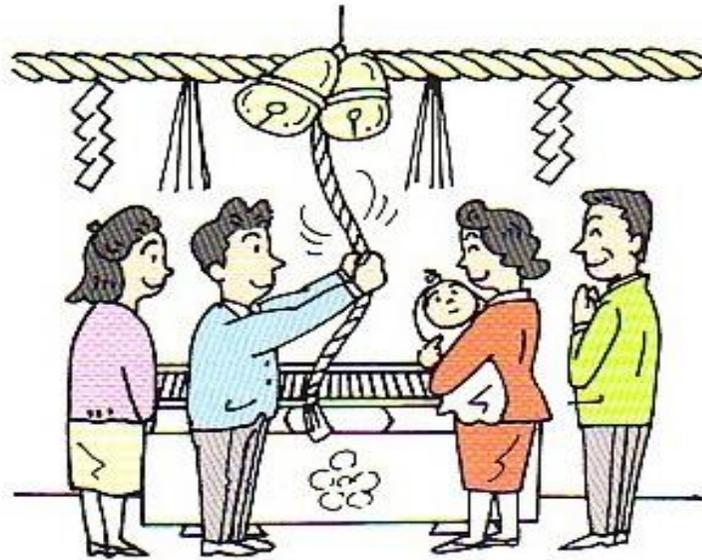


初宮詣

赤ちゃんが初めて神社にお参りすること。

神様の御加護のもと無事に誕生したことを感謝し、健やかに成長することを祈願します。

男児三十一日目、女児三十三日目にお参りするのが一般的ですが、あまり日数にこだわらずに、ご家族おそろいになってお参りするのがよいでしょう。



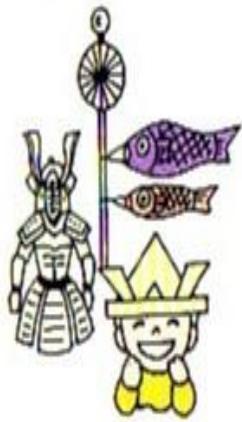
お食い初め

生後百〜百二十日頃に、大人と同じ食膳を用意して、赤ちゃんに食べるまねをさせます。

お食い初めには、赤ちゃんが一生幸福に育ち、食べるものに困らないようにとの親の願いが込められています。

初節句

生まれて初めてのお節句で、女児は三月三日で桃の節句又はひなまつりともよばれ、ひな人形を飾ります。男児は五月五日で端午の節句、菖蒲の節句などと呼ばれ、鯉のぼりや武器飾りなどを飾ります。いずれも子供の無事成長を感謝し、祈願します。



ほかにも様々なお祝いがございます